

【通し番号】 20240002 【目次（分野別）】 筋骨格系

労働関連筋骨格系障害に特異的な予後因子：

最近のシステマティックレビューの概要

Prognostic factors specific to work-related musculoskeletal disorders:

An overview of recent systematic reviews

【著者】 Yannick Tousignant-Laflamme, Catherine Houle, Christian Longtin, Thomas Gérard, Emilie Lagueux, Kadija Perreault, Hélène Beaudry, Pascal Tétreault, Marc-André Blanchette, Simon Décary

【概要】

背景：労働災害は毎年相当数の人々に影響を及ぼし、社会にとって大きな負担となっている。この負担を軽減するために、予後因子を臨床的意思決定プロセスに組み込むことによってリハビリテーション医療を最適化することは、臨床転帰を改善する有用な方法である。本研究の目的は、労働関連筋骨格系障害に特異的な予後因子を同定することである。

方法：予後因子について報告されたシステマティックレビューのうち、以下のアウトカムに関心のあるものを調査した：復職、疼痛、障害、機能的状態、または不良な転帰。抽出された各予後因子は、エビデンスレベル（グレード A または B）および修正可能か否かに従って分類された。各研究のバイアスリスクは、ROBIS ツールを用いて評価した。

結果：3つのデータベースから 757 件の引用文献を検索した。307 件の重複を除去した後、450 件のレコードをスクリーニングし、20 件の研究を保持した。グレード A 推奨の予後因子を合計 20 件抽出し、7 件は修正可能、11 件は非修飾可能、2 件は指標テストとした。例えば、職場復帰への期待、病気休暇の既往、紹介の遅れ、痛みの強さなどが職場復帰の転帰の予測因子であることがわかった。また、グレード B が推奨される 17 の予後因子を同定し、11 が修正可能とした。例えば、全身状態の悪さ、回復への否定的な期待、対処や恐怖回避の信念、痛みの重症度、特に肉体労働は、職場復帰の転帰を予測することがわかった。

結論：我々は、仕事関連の筋骨格系障害の診断関連情報以外にも、臨床医が治療計画を個別化するのに役立つ以下の予後因子¹⁾を多数発見した。

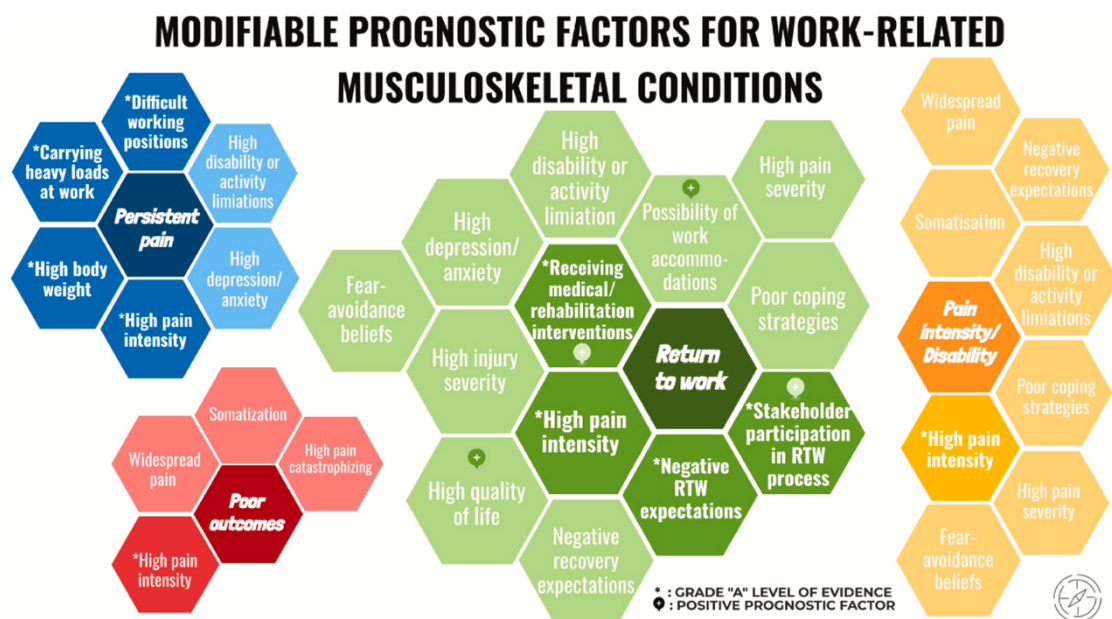


Fig. 3. Modifiable prognostic factors for work-related MSK conditions.

【解説】

労働関連筋骨格系障害は、EUにおける最も報告されている労働関連健康問題であり続けている²⁾。また、すべての業種・職種の労働者に関係しており、労働者自身に対する影響に加えて、企業や社会にとって高い費用につながっているため、対策が喫緊の課題である。

労働関連筋骨格系障害の予防に関して、欧州においては、すでに欧州指令、加盟国の規則、ガイドライン³⁾定められている。一方で、我が国においても、労働関連筋骨格系障害に主眼を置いたガイドライン等はないものの「情報機器作業にかかる労働衛生管理のガイドライン」⁴⁾が作成され、筋骨格系障害の予防に関する視点も記載されている。このように、労働関連筋骨格系障害の予防に関しては、我が国を含め、エビデンスに基づいた施策が実施され始めている。

本論文では、労働関連筋骨格系障害の治療に関して職場復帰、痛みの強度/障害度、持続的な痛み、不良転機ごとに関連する修正可能な予後因子を示した。一方で、筋骨格系障害は、異なるレベル（国、業種、職種及び個人）にまたがって多様性を示しており、筋骨格系障害の症状を報告する労働者の割合において国における相違がある⁴⁾。したがって、本論文を参照しつつ、我が国においても労働関連筋骨格系障害の予防から治療までエビデンスに基づいた包括的な施策を推進していく必要があると考える。

【参考】

- (1) <https://view.genial.ly/62587ffa6dc00700184eca11/horizontal-infographic->

diagrams-modifiable-prognostic-factors-for-work-related-msk-conditions

- (2) Work-related musculoskeletal disorders: prevalence, costs and demographics in the EU

<https://osha.europa.eu/en/publications/msds-facts-and-figures-overview-prevalence-costs-and-demographics-msds-europe/view>

- (3) European Agency for Safe and Health at Work HP

<https://osha.europa.eu/en/safety-and-health-legislation>

- (4) 情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドラインについて

<https://www.mhlw.go.jp/content/000539604.pdf>

- (5) 欧州労働条件調査（EWCS）の第5波（2010年）と第6波（2015年）に基づく
Panteia

【国際委員執筆者】

株式会社 N T T データ 松永直道